

Kandai Style

2016.6 Vol.451
関西大学通信



総合関関戦を
応援しよう!



バスケットボール部女子主将

熊川伊織さん
(人間健康学部4年次生)

地道な練習と意識改革で 勝てるチームに

1部リーグ昇格を目標にしています。週6日の練習では、体当たりの強い1部リーグと戦っても倒れない体づくりと、体幹を鍛えるために、走りこみやウエイトトレーニングを取り入れています。それが速攻プレーにつながっています。**大切にしているのは「意識改革」。**ルーズボールを諦めず取りに走り、チームで声を掛け合います。そうすることが自分自身の意識改革にもつながります。**総合関関戦では、挑戦者の気持ちを思い切りぶつけて、勝てるようにがんばります。**

写真提供:関大スポーツ編集局



ハンドボール部男子主将

恩塚賢宜さん
(化学生命工学部4年次生)

自由に発言できる場こそが 信頼関係の始まり

昨年は関西学生リーグ戦で春秋連覇を成し遂げました。試合で勝つ要因はチームが一つになること。ミーティングでは、**先輩・後輩関係なく自由に発言し、時にはぶつかり合いながらも互いの考えや個性を尊重します。**そうして生まれた信頼関係を基礎に、上位年次生がチームを統率し、団結力を高めます。試合の見どころは素早い試合展開と華麗なシュート。一部の接触プレーが認められているため、体づくりも大切です。関学には、春のリーグ戦での勝利に続き、女子部と共に結果を残したいです。

写真提供:関大スポーツ編集局



器械体操部主将

児玉光司さん(法学部4年次生)

怖さのある競技だからこそ 一番の信頼関係

男子は6種目、女子は4種目ある器械体操は、個人競技に見えるかもしれませんが、一人ですることには限界があり、部員の協力が不可欠です。いつも怪我の恐怖を感じているからこそ、**部員同士の信頼関係と新技に挑戦する気持ちを大切にしています。**例えば、つり輪十字懸垂はとても難しい技ですが、みんなで「できる!」「やろう!」と励まし合い、日々の練習を積み重ねた結果できるようになります。今までの総合関関戦では、**「勝ちたい!」という気持ちで挑んでいましたが、今年は「勝つぞ!」という強い気持ちで挑みます。**



総合関関戦を 応援しよう! 6/17.18.19

実行委員長
倉本頌太郎
(法学部2年次生)



今年のスローガンは「真志(しんし)」。
関西大学体育会KAISERSとして全員が総合関関戦に「真」摺に向き合い、勝利することを「志」して戦うことを意味しています。このスローガンの下、同じ志を持って全力で戦えば、必ず歓喜の瞬間を創り出すことができると考えています。関西大学体育会KAISERSに熱いご声援をよろしくお願い致します。

総合関関戦とは?

学生のスポーツ振興と関西大学・関西学院大学の親睦を深めることを目的に、1978年からスタートしたのが総合関関戦。全国的に見てもこの大会のように同じ会場・同じ期間にあらゆる競技を一斉に行うという大学の対抗戦は珍しいようです。大会では、サッカー、野球、器械体操、馬術、陸上競技、弓道など、さまざまな競技で対戦が行われ、勝利数の多かった大学がその年の総合優勝校となります。第1回大会は15勝8敗3分と関西大学が勝利。第38回大会までの通算成績は関西大学の16勝21敗です。(第30回は中止)毎年交互にどちらかの大学が大会会場となり、今年は秋に創立130周年を迎える関西大学が会場となっています。先輩たちが築上げた長い伝統と輝かしい歴史に思いをはせながら、選手たちを応援しましょう!



アイスホッケー部主将

佐々木健真さん
(人間健康学部4年次生)

ぶつかっても倒れない 強さとスピードが魅力

アイスホッケー部の特長は、攻守にわたる多彩なフォーメーション。鈴木宣夫コーチの指導の下、**大学所有のリンクという恵まれた環境でトップレベルの練習をしています。**アイスホッケーは体ごとぶつかり合う激しい競技。相手のパワーに負けない強さとスピードを出せる体づくりや、精神面での緊張し続ける強さが必要です。昨年を超える戦績を目指し、今年は練習に一層熱が入ります。**総合関関戦では完封勝利が目標。関学に圧勝して、シーズンへの流れをつけていきたいです。**



ソフトテニス部女子主将

内藤紗穂さん
(政策創造学部4年次生)

強さの秘訣は 経験値と関大好き

ソフトテニスの面白さは、多様な試合形式や、季節によって試合会場に変化があること。また、カットサーブなどゴムボールならではの柔軟性あるプレーができるのも魅力です。小学生からソフトテニスを経験し、**関西大学でプレーをしたくて入学した部員が多く、みんな培ってきたものを試合で発揮しています。**総合関関戦は男女混合団体戦ですが、**今年からペアの割合を、男子4ペア・女子3ペアに改善するよう関学に提案し、それが通りました。**良い風が吹いているので、勝てるようにがんばります。

写真提供:関大スポーツ編集局



バレーボール部女子主将

奥田涼香さん
(文学部4年次生)

部員一人一人が 輝くチーム

バレーボール部の強みは、他大学ではなく関西大学でバレーボールをしたい人が集まったチームであること。それがチーム力になり、結果につながっています。**試合に出ない部員もいますが、コートの外にいるからこそ見えることもあります。**チーム全員に役割があって、全員が輝くチームにしたいです。1部リーグに昇格してからは、練習時間も増えました。技術を磨き、相手チームの弱点を研究し、対策を練っています。**今年は春季1部リーグ優勝を目標にし、他の部の応援にも行き、今年こそ関学に勝ちたいです!**



第39回総合関関戦

前哨戦: 3勝3敗 (5月25日現在)		
日程	種目	場所
6月4日(土)	アーチェリー	養心館アーチェリー場
6月4日(土)	卓球	中央体育館サブアリーナ
6月4日(土)、5日(日)	弓道	弓道場
6月5日(日)	射撃	養心館射撃場
6月9日(木)	ゴルフ	有馬ロイヤルゴルフクラブ
6月11日(土)、12日(日)	ヨット	新西宮ヨットハーバー
6月12日(日)	ラグビー	中央グラウンド

6月17日(金) / 会場: 関西大学千里山キャンパス他		
時間	種目	場所
12:45~13:30	開会式	中央グラウンド(雨天時:第1学舎1号館千里ホールA)
14:50~18:35	ラクロス	中央グラウンド
15:30~19:30	バスケットボール	中央体育館メインアリーナ
17:00~19:30	アイスホッケー	高槻キャンパスアイスアリーナ

*ラクロス: 14:50~(女子) 16:35~(男子)
*バスケットボール: 15:30~(男子) 17:30~(女子)

6月18日(土) / 会場: 関西大学千里山キャンパス		
時間	種目	場所
11:00~12:45	健康マラソン(イベント)	千里山キャンパス内(中央グラウンドスタート)
11:00~15:00	重量挙げ	凱風館重量挙げ道場
13:00~14:00	相撲	新凱風館相撲道場
13:00~14:00	古武道	中央体育館サブアリーナ
13:00~15:00	拳法	凱風館拳法道場
14:45~19:30	器械体操	東体育館第1体育室
15:00~17:00	剣道	中央体育館サブアリーナ
15:30~19:00	ハンドボール	中央体育館メインアリーナ
17:00~19:00	サッカー	中央グラウンド

*器械体操: 14:45~(女子) 17:15~(男子)
*ハンドボール: 15:30~(女子) 17:00~(男子)

6月19日(日) / 会場: 関西大学千里山キャンパス他		
時間	種目	場所
7:00~15:00	自動車	名阪スポーツランドDコース
9:00~17:00	アイススケート	高槻キャンパスアイスアリーナ
10:00~15:00	ソフトテニス	ソフトテニスコート
10:30~15:00	フェンシング	東体育館第3体育室
10:30~15:00	バレーボール	中央体育館メインアリーナ
12:00~13:00	空手道	凱風館拳法道場
12:00~13:00	合気道	東体育館第2体育室(畳)
12:00~13:30	レスリング	東体育館第2体育室(レスリング場)
12:00~15:00	バドミントン	東体育館第1体育室
12:30~15:25	ホッケー	中央グラウンド
13:00~	野球	高槻キャンパス第3グラウンド
17:00~18:00	閉会式	中央グラウンド(雨天時:中央体育館)

*バレーボール: 10:30~(女子) 13:00~(男子)
*ホッケー: 12:30~(男子) 14:05~(女子)
*ラクロスはエキシビジョンマッチ、古武道・合気道は演武のため、勝敗には反映されません。
高槻キャンパスアイスアリーナ、第3グラウンドにお越しの際は、高槻市営バス「西の口(関大正門前)」停留所で下車してください。
各試合日時に変更の可能性があります。
詳細は右の二次元バーコードで随時確認してください。



●前夜祭で盛り上がりましょう!

総合関関戦を楽しんでもらうイベントとして、前夜祭があります。応援団バトン・チャリダー部や吹奏楽部のステージなど、これから始まる総合関関戦に向けてのオープニングイベントです。みんなで歌う応援歌に合わせて、関関戦への気持ちを高めていきましょう。
日時 6月5日(日) 11:00~13:00
(雨天中止)
場所 豊中市千里セルシー広場
(千里中央駅前)

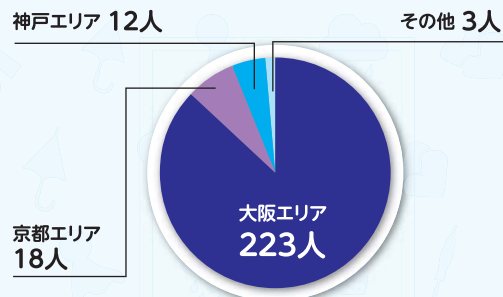


みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

本当はこわい大雨の時の地下空間



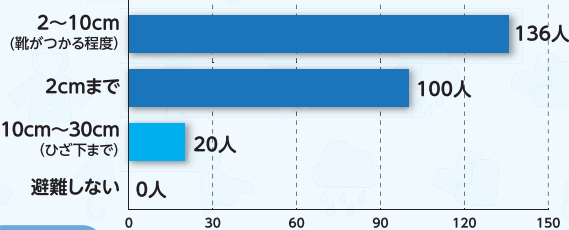
Q あなたがよく利用する地下空間はどこですか？



コメント

梅田の地下街は日本有数の規模です。その一部は海面より低いゼロメートル地帯にあり、浸水に対しては脆弱なことを知っておくことが重要です。

Q 地上に水が溢れた場合、水が地下空間に流入してきます。地下の水深がどのくらいになれば避難しますか？



コメント

地下の浸水が始まると水深が急激に増加して短時間で歩行が難しくなります。浸水が始まる前に避難することが重要です。

Q 火災、地震、洪水、その他の中から地下空間にいて怖いと思う災害の順に1～4の番号を入力してください。

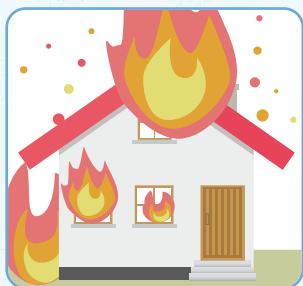
1. 洪水



2. 地震



3. 火災



4. その他



コメント

1. 洪水>2. 地震>3. 火災>4. その他の順番で怖いと答えた方が59人。一番多い回答でした。その他にはテロ、停電、津波、有毒ガスなど。テロについては地下鉄サリン事件と具体的に回答する方も目立ちました。

昨年の水害のニュースは、皆さんの印象に残っているのではないかと思います。これから梅雨になり雨量が増えると、身近な場所で水害が起こる可能性があります。

今回は皆さんが利用する地下空間での水害を想定して、アンケート調査をしました。

アンケート期間:2016年3月14日～4月7日 対象:関大生 回答者数:256人

Q 大雨が降っているときに地下空間に入りますか？

地下空間に「入らない」理由

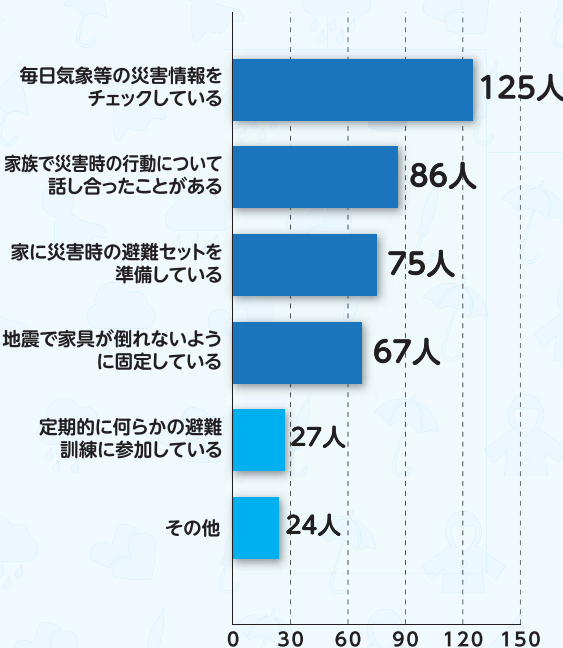
大雨の時は外出を避けるから(41%)
特に地下空間は危険だと思うから(32%)
普段からあまり利用しないから(27%)



地下空間に「入る」理由

雨に濡れたくないから(52%)
利用せざるを得ないから(35%)
普段から利用しているから(13%)

Q あなたが実際にやっている災害対策を教えてください。(複数回答可)



その他の回答例(自由記述)		
法2	男子	行動先の避難場所を確認すること。
社会安全研究科M1	男子	平時から家族間で、その日いる場所やおまかな帰宅時間などを共有している。
社4	男子	現金と通帳だけは同じ箇所に保管し、すぐに持ち出せるようにしている。
社4	女子	家具が倒れても下敷きにならないように配置している。
安全2	女子	社会安全学部で学んだ知識を友人や周りの人に教えています。他の人にどのように災害のリスクマネジメント、クライシスマネジメントできるかを今後は学びます。
法3	男子	自宅の本棚の転倒対策として、新聞紙を挟んで、前方を少しだけ高くしています。
文4	女子	ニュースや天気予報は前日と当日にチェックしている。自宅が田舎であるのもあって、台風や積雪降雨でよく電車が止まるので極力外出を避けたり、アメダスで安全な時間帯を検索したりする。
文学研究科M2	女子	常に出口を意識し、チェックしている。地下街だけでなく、ビルなども。
シス理1	男子	海抜何メートルかを示す標識を見ると記憶するようにしている。たまに、今いる場所から避難するにはどこへ行くべきか考えている。
社4	女子	学校の避難訓練。

関大防災Dayとは

2010年から毎年開催している、関西大学独自の防災啓発行事です。「広がれ! みんなの安全・安心!」をテーマに、千里山・高槻・高槻ミューズ・堺の各キャンパスで行われています。

昨年は、地震避難訓練をはじめとして、地域防災に役立つ講演会、各種訓練などさまざまな防災イベントを実施しました。中でも「地震避難訓練」では、授業中に大地震が発生したと想定し、学生・教職員約1万人の避難、避難誘導、安否確認を行いました。学内における災害発生時の避難体制を確立させるとともに、地域の方々と連携して防災力の向上を図ります。その他、千里山キャンパスでは、地下空間に浸水する様子を水災害ジオラマ模型で観察したり、水没車からの避難体験実験も行う予定ですので、ぜひ参加してください。



大地震を想定して机の下に避難



学生・教職員約1万人が避難する様子



水没車からの避難体験実験



OPINION OF PROFESSOR

環境都市工学部 石垣泰輔教授

大阪湾沿岸(芦屋市～大阪市)のゼロメートル地帯124km²に138万人が住んでいます。ここは浸水に対して脆弱であるにもかかわらず、地下鉄や地下街などの地下空間が多く存在しています。回答者の87%がよく利用する大阪の地下空間は、ゲリラ豪雨、川の氾濫、高潮や津波による浸水が発生する可能性があります。京都は川の氾濫、神戸は川の氾濫と津波です。出入口の高さは平均して30cm

程度ですので、道路冠水の深さがその高さを超えると浸水が始まって地下空間に広がります。階段を下る流れは速く、出入口を超える深さが30cmになると階段の下では洪水時の川の流れより早い秒速4mにもなって上れなくなります。それまでの時間は10分程度と短く、避難できない階段がでできます。それでも大雨の際に地下に入ると答えた人が多く、知識と行動が矛盾しています。この記事で自分のいる場所の災害脆弱性を知って、自ら命を守るにはどうすれば良いかを考える一助としてください。

次号のテーマは…「人工知能と共に生きる!？」

今話題の人工知能(AI)について座談会を開催し、関大生がAIに対してどのようなイメージや疑問を持っているのか調査します。近い将来あり得るAIとの共生について考えてみましょう。

6月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「本当はこわい 大雨の時の地下空間」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(6月1日に通通知定)。

「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願い致します。

放送業界／気象キャスター

株式会社ウイング／NHK気象キャスター

三宅 惇子さん

大阪府樟蔭高等学校出身
2005年総合情報学部卒業



「好き」が「新しい好き」を届けてくれる。
興味を持ったら積極的に挑戦しています。

気象に関するさまざまなデータを収集・解析し、分かりやすく伝えるのが気象予報士である三宅惇子さんの仕事です。「ニュースチェック11」の気象キャスターに抜擢され、今年の春からは大阪を離れ、新天地のNHK放送センターで勤務しています。

中学校、高校時代はダンス部に所属し、人前で表現することの楽しさを知ったという三宅さん。将来はアーティストになるという夢を持ち、関西大学に入学しました。そんな三宅さんが今の職業と出会ったきっかけは、その大好きな歌とダンスの夢を断念したことでした。夢中になれる別の生き方を探さず、ふと自分の作詞ノートを見返すと、そこには空や雲、天気について書かれた詩がたくさんありました。あらためて空が好きだったと気付いた三宅さんは、新たな自己表現の場として、気象予報士を目指すようになったそうです。

そこから猛勉強の日々。3年半、7回目の挑戦にしてようやく合格できたときは、一生の仕事にしようと強く心に決めたと言います。「歌とダンスを諦めてしまった私。同じことを繰り返すのは嫌で、気象予報士への挑戦は諦めませんでした」。

卒業後数年たって、今の仕事と巡り合った三宅さんは自身の経験を踏まえ、「大学で学んだパソコン実習や街頭インタビューなど、今の仕事に役立っています。自分の夢とは直接関係ないようなことでも、さまざまな挑戦をして、自分の可能性を広げてほしい。そして、4年間で自分の大好きなものをじっくりと見極めてほしい」と熱いメッセージをくれました。

ある1日の
スケジュール

4:00 起床 その後、天気解析・
打ち合わせ・メイク
6:53 番組出演
7:45 番組出演
8:00 朝食
9:00 リハーサル
11:30 番組出演
13:30 退社
(※NHK大阪放送局勤務時)



毎日の天気を予測するための天気図のほか、尺を計るためのストップウォッチが必需品。

Weather Broadcaster



商学部

「マーケティング論」

岩本明憲 准教授

実際の企業活動から、現実の捉え方を考える。

より専門的な学問領域の学習・研究への足掛かりとするため、
マーケティングにおける基本的な知識の習得を目指します。

マーケティングとは、製品 (Product) ・価格 (Price) ・場所 (Place: 流通と同義) ・プロモーション (Promotion) というツールを駆使して、市場 (消費者) に、財 (サービス) をより効率的に届ける (販売する) 活動です。つまり、「どのような製品を作り、どのような価格を付け、どのような流通チャネルを選択し、どのようなプロモーション活動を用いて消費者に働きかけるのか」ということがマーケティングにおける最も重要な課題となります。

岩本准教授の「マーケティング論」は、マーケティングを初めて学ぶ学生にも理解しやすいように、この4つの「P」に関するマーケティング論の基本的な用語・理論・現象の理解を目的として開講されています。また、「座学としての理解はもちろんですが、現実の企業活動がどのように行われているのかについても、しっかりと目を向けてほしい」という考えから、授業中はインターネットで具体的な事例を数多く紹介し、学生がイメージしやすいよう心掛けています。 「マーケティングというものは、常に「今」に目を向けなければなりません。私がリアルタイムで経験してきた現実と、今の学生が見てきた現実とは大きなギャップがあります。そのため、授業では今の学生にとって、現実 (=リアル) として感じられるようなテーマやトピックスを選ぶよう気を遣っています」。

岩本准教授によれば、マーケティングの視点に立てば、マーケティングやビジネスと一見何も関係なさそうなテーマであっても、新しい見方が可能だそうです。「この授業を通じて、現実の企業活動やビジネスはもちろん、幅広く好奇心や疑問を持ち、主体的に考察する姿勢を身に付けてほしいですね」。ここで学んだことを出発点に、商学部の他科目や専門的な学問領域の学習・研究への足掛かりを築いてもらうことが本講義の目標なのです。



大江真衣さん (3年次生)

商学部に入ったからには、マーケティングについてもしっかり学んでおきたいと、この授業を履修しています。岩本先生のトークが魅力的で、引き込まれる講義だと聞いたのも選んだ理由の一つですね。毎回の授業がとても面白いです。



幸賢太郎さん (2年次生)

授業では身近な例を出してもらえるので、親しみやすく分かりやすいです。将来は起業することも視野に入れているので、企業を経営する上で身に付けておくべき学問と思い、真剣に授業を受けています。熱意のある先生で、とても勉強になります。



商学部

岩本明憲 准教授

この授業は、商学部の科目の中でも基礎にあたるので、予備知識を必要としません。好奇心が強く、もっと面白いことを学びたいと思う学生に、ぜひこの授業を受けてほしいですね。そして、分からないことについて知識欲を持ち、大学生に必要な「学びの姿勢」を身に付けてほしいと思います。



駅名変遷物語

～昔の駅名7つに潜む意外史～

1日約3万5千人の乗客が乗り降りする「関大前」駅は、大正末期の新設時から、駅の位置と名前が頻繁に変わったことで知られています。

そのいきさつには関西大学の発展の歴史が大きく影響しているほか、巨大遊園地で沿線の増収を図る私鉄商法の変化や戦争までが絡んでいます。

小さな駅の変遷からのぞいて見えた北摂の歴史のひとコマです。



2つの駅舎

(以下の写真3枚は年史編集室提供)

『関西大学100年史』や各種資料を総合すると、駅名の変遷は右図ようになります。これで見ると「関大前」駅は、2つのルートに分かれて変化してきました。駅の位置が現在と異なるからで、右図の左側ルートは、第2次大戦前後に「閉鎖→再開」された駅舎で、現在の「フタバボウル」辺りにありました。一方、右図の右側の「花壇前」駅からスタートした駅舎は、現在の関西大学幼稚園の前辺りにありました。2つの駅舎は輸送力の増強などのため昭和39年(1964年)に統合され、2駅の間に新設されたのです。



巨大遊園地と戦争の影

駅名に頻繁に現れる「花壇」や「遊園」は、関西大学の敷地に隣接して同じところに造られた近代的な遊園地「千里山花壇」に由来します。私鉄が沿線の乗客を増やすための作戦で、春はモモやサクラ、秋はキクが咲き乱れ、大音楽堂や飛行塔、高さ10メートルの人工の滝を人々は楽しみました。園の名は子供汽車や児童遊園地が増設された昭和13年(1938年)に「千里山遊園」に変わり、駅名もこれに合わせました。しかし「戦時にふさわしくない」との指摘で戦争中は一時「千里山厚生園」に変えられましたが、敗戦直後、元に戻りました。

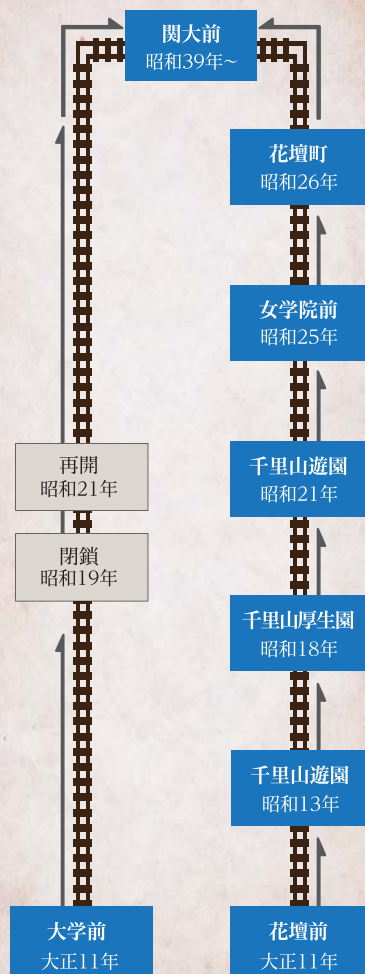


わずか8カ月の「女学院前」駅

奇妙なのは「女学院前」駅です。なぜ関西大学の前に「女学院」が登場したのでしょうか。これには前述の千里山遊園の身売り話が絡んでいます。戦後経営不振に陥ったこの遊園地に注目したのが、新しい女子学院の建設用地を探していた別の団体でした。交渉は進んで駅名も「女学院前」に変わりましたが、校地不足の解消のため関西大学が購入することになり、駅名は1年もたたないうちに消え、「花壇町」駅に変わったのです。



【駅名の移り変わり】



社会学部3年次生

岡田 拓也さん

大切なのは、「自分に正直でいること」。

「大学の4年間という時間は、誰にとってもぜいたくな時間だと思うんですよね」。そう話す社会学部3年次生の岡田拓也さんは、現在3つの分野を軸に、幅広く活動をしています。

その3つの活動分野の一つ目は、「写真」です。3社の委託カメラマンとして活動するほか、個人的な指名もあるほど売れっ子の岡田さんが、写真の魅力に気付いたのは浪人中のある一日がきっかけでした。入試が迫った時期、ふと行き着いた河原で感じた風や香り、そしてキレイな夕日に感動し、思わずその風景をスマホのカメラで撮影。このとき「写真の魅力に初めて気付いたのだそう。

活動の2つ目は、「音楽」です。今年1月にバンド活動を再開し、4月にはCDを出した岡田さん。彼の音楽活動は高校2年生の時にスタートしました。当時はメンバー募集から初心者への各パートの演奏指導まで、全て担当したそうです。演奏する曲は自分で作詞作曲するほか、ネット上にアップするなど広報活動もしているとか。

そして最後の活動分野は、バンド活動から広がった「映像」です。手持ちの一眼レフカメラで撮影し、ミュージックビデオなどを作成しています。現在、全国の人々に知ってもらおうとSNSを利用したセルフプロデュースまで手掛けているそうです。

これらの活動分野は一つ一つ分かれていても、写真に興味を持ってくれた人が、さらに音楽にも共感してくれるといったこともあり、「写真や音楽、映像などきっかけはバラバラでもいいから、それらを通じて自分の世界観をもっと深く知ってほしい」と言います。さまざまな活動に精力的な岡田さんですが、この行動力の根本には、ある強い信念があります。それは、「何かを始めたいと思ったら、四の五の言わずに始めること」。

「大学4年間は、自分が好きなことを信じて突き進みながら、紆余曲折を経験した方がいいと思います。その先に、“自分”というものが必ず見えてくるはずですから」。常に挑戦する姿勢を失わず、成長し続ける岡田さんだからこそ、この言葉には力強さがありました。



岡田さんが撮影した作品



バンド活動の様子(中央が岡田さん)

次回は、岡田さんからのご紹介で松村拓磨さん(法4)が登場。お楽しみに!

Takuya Okada

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

法律学・政治学を学ぶことの効用

「いまさら?」のテーマですが、お付き合いください。学生時代に必要なのは「自己」の確立です。が、それには「他者」が必要。他者に関心を持ちその「声」を聞き、協力の関係性を構築すること。そうして自己は形成されます。日々の勉強の際にも、常に他者を想定しその立場に立ってみること。それを繰り返すことで自分の見方・考え方が身に付くでしょう。自己から他者へ、他者から自己へ、「視線の往復」を通じて社会を考えるのが法学部での学び。春学期も後半です。しっかりと学びましょう。

(副学部長 高作正博教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

日中韓院生フォーラムを開催

恒例の北京外国語大学での日中韓院生フォーラムが今年度も3月13日と14日の2日間にわたって開催され、本研究科から38人の院生が参加しました。このフォーラムも今回で9回目となり、使用言語は日中韓英の4カ国語で行われる



まさにグローバル化にふさわしいイベントで、将来を担う若手研究者の有益な学術交流の場となっています。

(内田慶市教授)

経済学部／経済学研究科

新入生歓迎講演会を開催

4月2日、新入生歓迎行事として、竹中ナミ客員教授による講演会が開催されました。「真の一億総活躍社会のために」と題された講演からは、ICTを駆使してユニバーサル社会の実現を目指す‘ナミねえ’の熱い思いが伝わり、新入生は真剣に耳を傾けていました。



(副学部長 北原聡教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

商学研究科進学者の早期卒業制度

本学部は、「商学部・商学研究科5年一貫教育プログラム」による早期卒業制度を導入しています。成績等に関する所定の条件を満たし、大学院入試(10月募集)の口頭試問に合格すれば5年間で商学部卒業(学士の取得)だけでなく、商学研究科博士課程前期課程を修了(修士の取得)することができます。これは、税理士志望者にとっても有意義な制度です。志望者は6月中旬～下旬に教務センターへ申し出る必要があります。詳細については、教務センターで確認してください。

(副学部長 徳永昌弘教授)

社会学部／社会学研究科

ゆっくりと改善中

約1年ぶりに社会学部を訪れた学生に、「第3学舎がきれいになっていてびっくりしました!」と驚かれました。確かにこの間に、床が張り替えられたり、エレベーターが増設されたり、机や機器が入れ替わったりしているのですが、段階的に改装が進んでいると、つついそのことを忘れてしまいます。ゆっくりとした改善を着々と進めることの大切さを改めて思い知らされた気持ちです。将来、教育や研究の進化にも驚いてもらえるように、ゆっくりと着実に改善を進めていきたいと思います。

(入試主任 保田時男教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

新入生セミナーを開催

4月16・17日の2日間に渡って、新入生セミナーが開催されました。この行事は毎年上級生が中心となって企画運営されています。諸外国が抱える政治問題をテーマに与えられた新入生たちは、少人数のグループごとに1日がかかりで分析を行い、その結果を次々と報告してくれました。



(三枝憲太郎准教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

Lifelong Learning

I highly recommend thinking about your education as a long-term project. A knowledge of English and other languages are increasingly required in Japanese companies and this will allow students access to newspapers and the internet. Study hard so you will have more work choices in your future and can enjoy the social aspects of meeting people from other countries.

(アラン・ハント教授)

人間健康学部／人間健康研究科

ハワイでの「国際健康福祉実習」

2月19日から3月1日までの12日間、「国際健康福祉実習」科目の一環で、11人の学生たちがハワイへ行ってきました。福祉・スポーツ施設の見学やアクティビティの実践などを通じて、



多文化社会や国際的なWell-beingの状況など、多くのことを学んで帰ってきました。

(西川知亨准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

初心忘るべからず(安全衛生週間・期末試験に向けて)

新入生の皆さんが入学したり、2～3年次生はそれぞれの学年の新しい時間割が始まったり、4年次生では研究室での研究活動が始まったりしてから早いもので2ヶ月が過ぎました。それぞれが新しい生活に慣れてきた頃ではないかと思えます。慣れは、緊張が緩和することで心の余裕が生まれるため、その結果としてさまざまな方面に目が向くようになり、例えば新しいことを見いだすきっかけになるなど良いことも沢山あります。その反面、思慮深さや注意力、丁寧さを欠くきっかけにもなります。特に実験・実習が多い

理工系では、ちょっとした気の緩みが大きな事故につながりかねません。理工系3学部では、安全衛生に関する取り組みの一環として、「安全衛生週間」を定期的に実施しています。教職員と学生が協力して、理工系全学部・学科の研究室における一斉自主点検、教職員および学生の安全衛生委員による全研究室の巡回点検、および安全意識向上のための講演会、講習会等を実施しています。

また、あと1ヶ月もすると、春学期の講義・演習などを通じて学習した成果が試される「到達度

の確認試験」「春学期末試験」が始まります。在学生の皆さんは、これまで以上に授業に真剣に取り組み、悔いが残る結果とならないように、心・知・体が万全の状態です試験に臨むことができますようにしっかりと準備をしてください。それぞれの夢や希望を叶えるため、初心を忘れること無く、安全で実り多い学生生活を送って欲しいと思います。

(システム理工学部入試主任 田地川勉准教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

マナーアップコンクールの結果発表および表彰式を実施

新入生指導行事の一環として、4月4日に平成27年度マナーアップコンクールの結果発表および表彰式を実施しました。このコンクールは、公共の場でのマナーとモラルの意識向上について、総合情報学部生自らが主体的に考えることを目的として、学部での学びを生かしたグラフィックス作品および映像作品の募集を「マナーアップコンクール」と題して実施したものです。今年度が通算3年目の実施となりました。なお、受賞作品については、4月中は高槻キャンパスK棟ギャラリーにおいて作品展示を行っています。(高槻キャンパスオフィス)

社会安全学部／社会安全研究科

高槻ミュージックキャンパス祭を開催します

来る6月19日(日)に「高槻ミュージックキャンパス祭」を開催します。今年で第2回目となるミュージックキャンパス祭は、昨年、「安全フェスティバル」と「キャンパス開放デー」を統合して誕生したミュージックキャンパス最大規模の開放イベントです。社会安全学部のみならず、本学併設校や地域の方々とも連携して実施するもので、昨年は約3,000人の方々にお越しいただきました。今年も一日楽しんでいただけるさまざまな企画をご用意して、皆さまのご来場をお待ちしております。

(城下英行准教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

入学試験(7月)の出願開始

7月10日(日)に、2017年度入学向けの入学試験(7月募集)を実施します。出願締切は6月30日(木)です。また、6月11日(土)には、進学説明会を千里山キャンパスで開催します。会計専門職大学院の在学生との懇談会も予定していますので、ぜひご参加ください。入試要項の請求および進学説明会の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。(http://www.kansai-u.ac.jp/as/)

(入試主任 大西靖教授)



併設校トピックス

関西大学北陽中学校

中1新入生宿泊オリエンテーション実施

4月11日から2泊3日で滋賀県高島市にて新入生133人がオリエンテーションを行いました。本行事の目的は大きく二つあります。一つは、クラスメートや先生と良好な人間関係の基礎を築くこと、もう一つは、集団行動におけるルールやマナーを身に着け、今後の規律ある学校生活への第一歩を目的としています。今年度初企画のマウンテンバイクツーリングを行い、生徒全員が目を輝かせて楽しみ、友達もすぐにできていたようです。規律のある集団行動と楽しいプログラムを経験した生徒たちは翌週からの学習に胸を高鳴らせていました。

(教頭 川崎安章)



マウンテンバイクツーリング

Attention 大学からの重要なお知らせ

学長選挙を公示

学生の除斥投票は6月8日(水)～10日(金)

関西大学の現学長である環境都市工学部・楠見晴重教授の4年の任期がこの9月に終わります。そこで、4月6日付で「学長選挙の実施のお知らせについて」が学長、13学部長、法務研究科長、会計研究科長および心理学研究科心理臨床学専攻長の連名で公表されました。

また、同日付の公示第1号では選挙管理委員会設置の通知、公示第2号では学長選挙の日程、公示第3号では学長選挙候補者立候補の受付についてそれぞれ公示されています。

学長選挙にかかる公示については、すべてインフォメーションシステムを通じて行われます。今回の学長選挙は、前回に引き続き、立候補制を導入した選挙方式により選挙を行います。学生の皆さんは、除斥投票という形で学長選挙に参加することになります。除斥投票については、5月19日(木)付の公示で詳細を案内しています。

●なお、学長選挙によって選出された新学長については、本誌の10月号(第453号)で紹介する予定です。

【除斥投票について】

日 時	2016年6月8日(水)～10日(金) 10:00～16:30
場 所	所属する学部、研究科のキャンパスの投票所で投票を行います。
除斥投票結果	6月16日(木)付公示にてお知らせします。

関大トピックス

文部科学大臣表彰科学技術賞・若手科学者賞を7人の教員が受賞

関西大学の教員7人が、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞し、4月20日文部科学省で表彰式が執り行われました。この表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績をたたえることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。このたびの科学技術賞ならびに若手科学者賞の受賞者193人の中、私立大学関係者は22人でした。そのうち、本学の受賞者が私立大学の中ではトップの7人を誇ります。また、企業・他大学等の共同受賞者を含めると14人もの受賞者となり、幅広い分野において本学の成果が評価される結果となりました。本学では今後も「研究力」に磨きをかけ、その成果を社会に還元できるよう努めていきます。

●科学技術賞 開発部門

業績名：直感的操作が可能なヒューマンマシンインターフェイスの開発

受賞者：システム理工学部 田實佳郎教授

株式会社村田製作所、三井化学株式会社との共同により、有機圧電体としてL型ポリ乳酸 (PLLA) に着目した、直感的な操作が可能な次世代のヒューマンマシンインターフェイスの実用化の業績が評価されました。

●科学技術賞 科学技術振興部門

業績名：3次元情報の利活用のための社会基盤技術の振興

受賞者：総合情報学部 田中成典教授

環境都市工学部 窪田諭准教授

東京都市大学、大阪経済大学との共同により、日本の道路や河川などの高精度な3次元情報の効率的な整備と電子国土基盤環境の構築を可能とする社会基盤技術の振興に向けた業績が評価されました。

●科学技術賞 理解増進部門

業績名：体感型理科教育による分野横断かつ世代縦断型教育の普及啓発

受賞者：システム理工学部 倉田純一准教授

化学生命工学部 河原秀久教授

システム理工学部 山本健准教授

大阪医科大学、大阪薬科大学との共同により、理工系と医療系を中心とした分野横断融合領域である「医工薬連環科学分野」の構築と、その基盤となる体感型理科教育の理解増進と普及啓発に関する業績が評価されました。

●若手科学者賞

業績名：超高速3次元動画画像顕微鏡の創成と高機能化の研究

受賞者：システム理工学部 田原樹助教授

従来の3次元顕微鏡では不可能であった複数試料同時の高速3次元動画画像記録を可能とすべく、ホログラフィを用い、超高速3次元動画画像顕微鏡を開発し、生体の多次元動画画像可視化を実証した業績が評価されました。



地震被災者支援のための義援金募集活動を実施

このたびの熊本県熊本地方を中心とした地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。本学では、地震の被災者支援のための義援金募集活動を実施しています。千里山・高槻・高槻ミューズ・堺の各キャンパスにて、義援金箱を設置したほか、ボランティアセンターが学生スタッフと共に、有志の学生による義援金募集活動を実施しました。当日の義援金報告等については、ボランティアセンターのウェブサイトをご覧ください。



堺キャンパス祭を開催

6月5日(日)、人間健康学部では堺キャンパス祭を開催します。堺キャンパス祭は、関大生や一般市民の方々が楽しみながら交流を図る場となることを目的に行うイベントで、今年の堺キャンパス祭のテーマは「SAI～最高の祭で彩る堺～」。



よちまばなし

関大 四方山話 ◆「春画と末期がん」 人間健康学部 森下伸也 教授



大学院時代からの親友が二人いる。ひとよんで「三馬鹿トリオ」。

だが、人生は無情なもの。なかの一人がまだ65歳だというのに末期がんを宣告されてしまった。

ただ余命は1年を切ったが、日常生活に支障はないので、激励の意味で時折飲み会を開いている。先日、彼の住む京都の美術館で春画展をやっているというので、飲み会の余興で見学に行った。末期がんの激励に春画を観に行くとところが、いかにも「三馬鹿」か。ちなみに春画とは、早春のうらかな野山の風景を描いた

絵のことである。浮世絵には世界に誇る春画の伝統がある。北斎、広重、春信、歌麿、国芳、いずれも独創性豊かな春画をたくさん残していて、展覧会は豊富な浮世絵春画の世界。作品の多くは、過剰なリアルさ、極端な誇張、アクロバティックな構図、奇想天外なストーリーで度肝を抜き、哄笑を誘うが、一番いいのは大らかな解放感。聞き忘れたのだが、このゆるっと脱力した境地、よき冥途のみやげになってくれそうだろうか？

編集後記

雨の季節は、水について考える良い機会です。沖大幹先生が著した「水の未来」という本では、水に関わる悲観論と楽観論が、グローバルで、かつ千年という遠い将来に思いを馳せた視点から語られます。悲惨な洪水被害をもたらす一方で生命維持に不可欠な水は、地球上の、そして後世のすべての人に関わる話です。私たち一人一人が、この壮大なスケールの時空間において、水と人との豊かな関係づくりのどのように関わっていくべきか、雨空を見上げながら考えてみませんか？(広報委員・環境都市工学部教授 北詰恵一)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日：2016年6月1日(年9回発行)

発行：関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話：06-6368-1121(大代表)

今月の表紙



カメラマン：文化会写真部 寺本 凜太郎さん(法2)
モデル：体育会水上競技部 小澤 美夏さん(安全4)

僕は去年の夏休みに一眼レフを買ったばかりで、まだまだちゃんと使いこなせていません。また、プールでの撮影は初めてだったので全く自信がありませんでした。新しく後輩もできるので、今回表紙に選ばれたことを機にもっと勉強したいと思います。

千里山キャンパス室内温水プールにて撮影